

浄水発生土に含まれる放射性物質の検査結果

平成 24 年 5 月 20 日

阿賀野市上下水道局

大室浄水場では、河川水を取水し濁りの成分を取り除いて水道水をつくっています。

その際発生した浄水発生土（発生土）は、天日乾燥床で自然乾燥後、搬出します。

このたび、新たに乾燥中のNo.1 とNo.2 池の発生土について放射性物質の検査をしましたのでお知らせします。

採取場所 大室浄水場 天日乾燥床

分析機関 (財)新潟県環境衛生研究所

【天日乾燥を終え、保管中】

(単位：ベクレル/kg)

場 所	ヨウ素 131	※セシウム 134	※セシウム 137	※セシウム 合 計	検査日 (採取日)	現 況
天日乾燥床No.1	未 検 出	1,500	1,600	3,100	平成 23 年 6 月 10 日	大型土のう袋に詰め、砂層で覆い、更に遮光シートを被せ、新設した天日乾燥床において保管しています
		4,600	5,400	10,000	同年 8 月 2 日	
2,900		3,200	6,100	同年 6 月 10 日		
4,800		5,500	10,300	同年 8 月 2 日		
天日乾燥床No.2		60	89	149	同年 11 月 28 日	
天日乾燥床No.3		210	250	460		
天日乾燥床No.4						

【今回検査分】

場 所	ヨウ素 131	※セシウム 134	※セシウム 137	※セシウム 合 計	検査日 (採取日)	現 況
天日乾燥床No.1	未 検 出	62	78	140	平成 24 年 5 月 14 日	天日乾燥中
天日乾燥床No.2		62	84	146		

◆ <<乾燥中の発生土が堆積した期間>>

- ・天日乾燥床No.1、No.2 平成23年8月15日から平成23年12月15日（天日乾燥中）

※ 数値は、発生土の乾燥状態に応じて変化します。

◆ 天日乾燥床は、No.1 からNo.4 までありますが、発生土が乾燥すると搬出し、新たな汚泥を堆積、乾燥します。

◆ 放射性物質を含んだ発生土は、浄水場内で国、県の指示のもと、飛散、流出防止を施し厳重に管理しています。なお、週一回、発生土の保管をしている天日乾燥床の放射線測定を行い、新潟県における通常の測定範囲（0.016~0.16 $\mu\text{Sv/h}$ ）であることを確認しています。